

【学校だより「希望の虹」10月号】

「家庭教育力アップ～そのひと手間を大切に～」

校長 谷口源太郎

毎朝7時半から8時15分まで養護教諭と一緒に正門に立って子どもたちと「あいさつ&手指消毒」を行っています。4月に本校に赴任したときからずっと続けているところです。

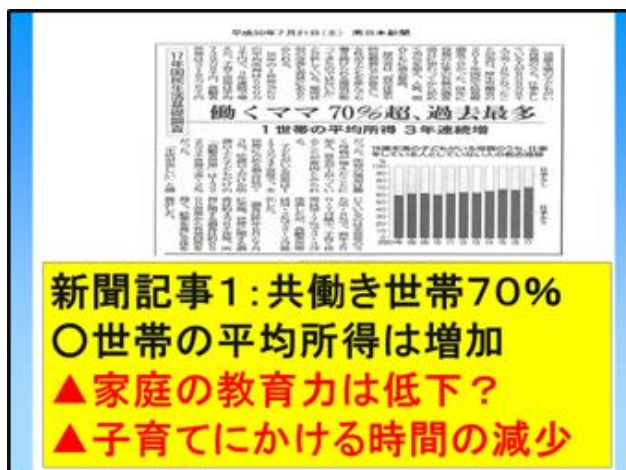
できるだけ名前を呼んであいさつをしたり、元気なあいさつができたことを褒めたりして声かけを行っています。子どもたちとの距離感をもっと縮めたいとの思いもあってのことです。遅刻してくる子どもには「校長先生は、あなたが来るのを待っていたよ」とか「来てくれてよかった。校長先生はうれしい。」とかその子に聞こえるようにつぶやいています。

子どもたちの中には、表情が暗かったり、疲れていたり、家庭で何か困ったことがあるのかなと思われる子どもたちも一部ですが見かけます。目を合わせないで学校に入っていく子、帽子をかぶらずシャツを出したままの子、とても眠たそうにして気力がなさそうな感じの子などもごく一部ですがいます。

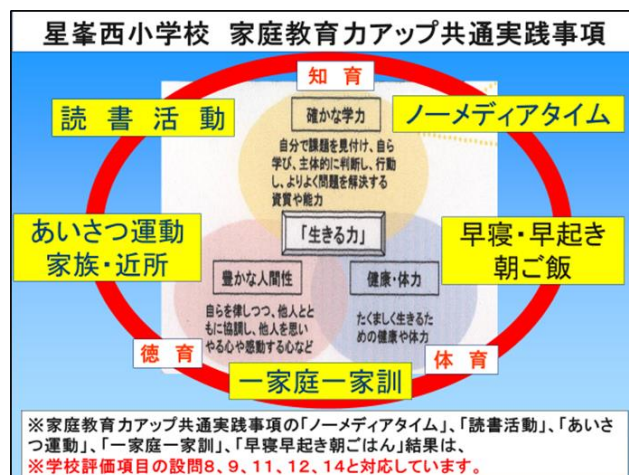
大人にも共通していることですが、私たちの表情は「心の様子」を表していると言われます。子どもたちは、保護者からの愛情に包まれて、自分が愛されていると実感できると自然に心が穏やかになり、心が満たされて安定し、それが表情に現れてきます。

昨今、両親共働きの世帯が増えています。3年前の新聞記事ですが、2017年国民生活基礎調査では70.8%の世帯が共働きの世帯という結果が出ていました。現在はもっとこの数値が増えているかもしれません。朝早くから夜遅くまで働いて家に帰ってゆっくりとくつろぎたいという思いは誰でもあります。そんなときに、「学校でどんなことがあったの?」、「先生の話をよく聞いてしっかり勉強をしている?」、「友だちと仲良く遊んでいる?」、そんなことを思いながら少しでも子どもに声をかけていただければありがたいです。子どもたちはきっと「親に見守られている」と感じることでしょう。

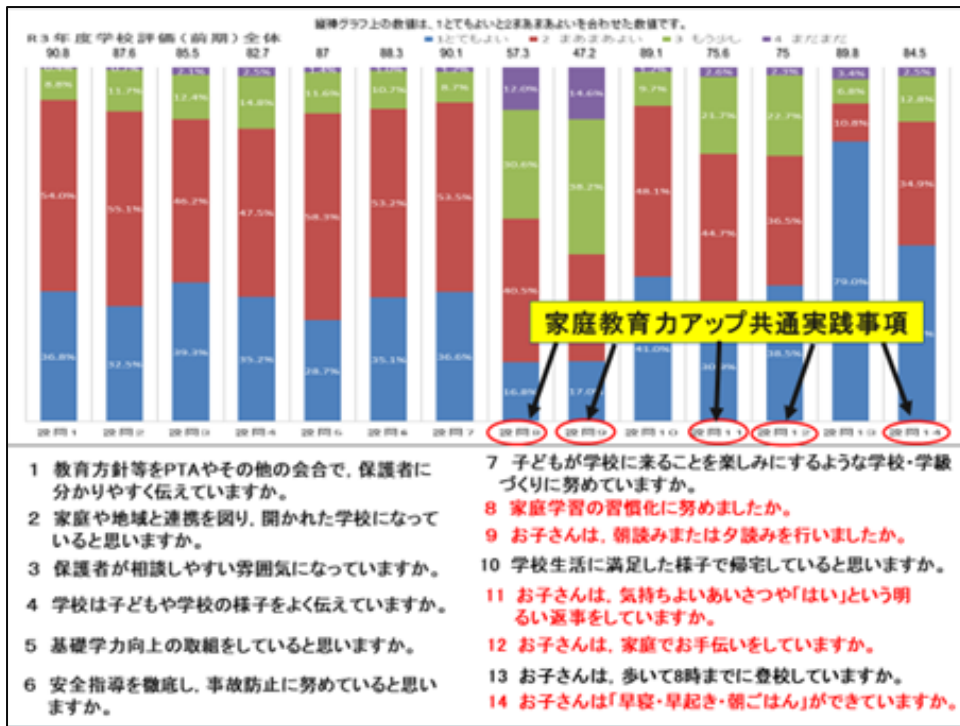
今年度8月から取り組み始めた家庭教育力アップ共通実践事項も早いもので2か月目に入ろうとしています。ノーメディアタイム、一家庭一家訓、あいさつ運動（家族、近所の方へ）、読書活動、早寝早起き朝ご飯の5つの実践事項についての取組をお願いしています。この2か月の取組を振り返ってみますとノーメディアタイムや一家庭一家訓とはどんな活動なのか、どのように取り組んでいけばよいのかを保護者の方々は迷われていることも多いかと思います。先日、お願いした学校評価項目の中にもこの5つの実践事項が含まれていました。取組の結果をご覧いただけただいしょうか?5つの実践事項の一つ一つは家庭教育で欠かすことができないことばかりです。



【2017年国民生活基礎調査の新聞記事】



【星峯西小学校 家庭教育力アップ共通実践事項】



【R3年度前期学校評価結果】

学校評価項目の8, 9, 11, 12, 14がこの共通実践事項の内容にかかわる部分です。「1 とてもよい」と「2 まあまあよい」を合わせた数値は以下のとおりです。

8 : の家庭学習の習慣化	57.3%	9 : 家での読書	47.2%
11 : 気持ちの良いあいさつ	75.6%	12 : 家庭でのお手伝い	75%
14 : 早寝早起き朝ごはん	84.5%		

今後この5つの取組が充実していき、子どもたちの姿(表情等)にどう反映していくかを見ていきたいと思っています。その他の学校に関わる項目も同じように見ていきます。

これらの取組を全校一体となった取組にするために、今後、取組状況を学校HPに掲載してフィードバック・お知らせしたり、学級PTAでも少人数グループによる話し合い活動を設定して情報交換をしたりしていきたいと考えています。

2学期は、秋季大運動会、修学旅行、持久走大会など大きな学校行事があります。まだ、コロナウイルス感染症も気を緩めてはいけない状況です。

そのような状況の中で学校は、子ども一人一人にしっかりと「学びの保障」をしていきたいと思っています。そのためには、子どもたちのよりよい成長に向けて、学校・家庭・地域が一体となって粘り強く取り組んでいかなければいけないと思っています。